



福岡運輸支局 輸送・監査担当

運輸企画専門官

平成 26 年度 採用（事務系職員）

【略 歴】

平成 26 年 10 月 宮崎運輸支局 輸送・監査担当

平成 28 年 4 月 八代市 企画振興部 企画政策課

平成 30 年 4 月 熊本運輸支局 輸送・監査担当

令和 3 年 4 月 熊本運輸支局 登録担当

令和 4 年 4 月 福岡運輸支局 貨物担当

令和 5 年 4 月 福岡運輸支局 旅客担当

※所属、職名、内容などは令和 5 年 6 月現在のものです。

現在の仕事内容

旅客自動車（バス・タクシー）の運送事業に関する許認可申請の審査や、それに関する相談に対応することが主な業務ですが、地域の公共交通に関することにも携わっています。

皆さんのお住まいの市町村でも、地域公共交通の問題が多かれ少なかれあるのではないかと思います。たくさんの人を運べる大型のバスだけではなく、小型のバスやワゴン車のような車が市町村独自のラッピングなどを施して走っているのを見かけたり、実際乗ったりされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そういった車を走らせて地域公共交通を確保するため、自治体職員の方の相談を受けたり、助言させていただいたりすることも重要な業務の一つです。

Q. これまでに従事してきた仕事は？

宮崎運輸支局、熊本運輸支局で輸送・監査業務に携わる一方で、1 年だけですが自動車の登録業務に携わりました。また、2 年間地方公共団体への出向も経験し、国の視点とはまた異なる視点から仕事をする非常に良い経験となりました。

多様な業務を経験しているわけではないですが、それぞれの経験が自分の引き出しとなり、今の仕事に活かされていると感じます。

Q. 仕事のやりがいは？

輸送業務については、その日のうちに終わる仕事はあまりありません。数日、数ヶ月をかけて事案を処理することになります。それら一つ一つが公共交通に重要な案件ですので、事案が完結したときには一安心です。例えば、自分が相談や申請の処理に携わったバスにお客さんが乗ってお出かけしている様子を見ると、自分の仕事が実感でき、改めてやりがいを感じます。

Q. 転勤は大変では？

自分の置かれる環境がガラッと変わるので、慣れるまでは大変な部分はありますが、仕事にしても、プライベートにしても、その土地でしか体験できないことや、そのときしかない出会いがあるので、デメリットばかりではないと思っています。

基本的に九州管内の転勤になるので、名前も知らない町で仕事をするということはあまりないと思いますが、実際に住んでみないとわからないことはたくさんあります。転勤を通してそういったことを実感できることは楽しみの一つでもあります。

Q. 休日の過ごし方は？

4歳と2歳の子どもがいるので、平日はゆっくり遊べない分一緒にあそんだり、習い事に付き添ったり、家族で買い物に出かけたりと今は子ども中心の過ごし方ですが、年に1回は家族旅行にも行きます。もう少し子ども達が大きくなったら、家族で長距離のドライブや自分の趣味にも時間を使いたいなと思っています。

この職場ではワーク・ライフ・バランスをしっかりと維持することも仕事のひとつとして重視されています。そのおかげで、家族との時間や、趣味の時間のこともしっかり考えることができています。

Q. 1日の仕事の流れ

8:30 出勤

メールの確認を行い、その日の大まかな予定を立てます。

9:00 書類審査・電話対応

申請の書類審査や相談事項への対応を他の職員と協力して行います。

12:00 昼休み

昼食をとった後は、リフレッシュのためお昼寝します。

13:00 相談・依頼対応

事業者や自治体職員の方の相談や、メール等での作業依頼に対応します。

16:00 業務整理

対応に日数を要するものについては、優先順位をつけ、翌日以降の業務を整理します。

17:15 定時

家族が待っています。電車の時間にあわせて退庁します。



Q. 就職活動中の皆さんへのメッセージ

私も、就職活動には苦労した方だと思っています。このページを見られている方はいろんな選択肢の中から、少なからず九州運輸局の仕事が気になって見ていただいているのではないかと思います。

間違いなく今後の人生を決める最も重要なターニングポイントになるかと思うので、他の選択肢を含めて引き続きたくさん情報を集めてこれからの進路を決めていただきたいなと思っています。

九州運輸局では、皆さんに身近な乗り物である自動車をはじめ、九州の海陸の人・物の輸送や観光の仕事を担当しています。どれもなくてはならない仕事だと自負しておりますので、ご興味をお持ちいただけましたら選択肢の一つとして九州運輸局をご検討ください。